



右に攝権少將五位下藤原朝高光

右大臣師輔の男母延喜第二女 雅子内親王

應和元年十二月五日出家 法名不覺 字安

武峯少將

かくもりつゝあはれつゝくはるゝのち
しづかにていふことあり



右の番長丑生忠家

右の侍生泉大持定之國隨身也

下先墨
上惣緋





卷五 禊祓大副 後四位下 大中 臣頼基
 を以守 後五位下 息良 孫備后 大掾 実
 位上 備道一男 醜 嗣朱 雀村上 三代人
 けいふのや...
 おろそくぬく...

從五位下左馬助源朝臣重之

宰相兼志三男

よきも見祢の

ふりまのあえのたうらひ



前陸奥守後五位下源朝臣信明

右大臣源公忠一男

信明

源公忠



淡公後より融登守源朝臣順

淡公後より右京大夫に任ぜられたる源朝臣順

二男村上春氣圓熟三代人也

水乃行りにしてる月形をわらふれハ

こゝろにうたのちかきあはれ



肥後守從五位上清原元輔

從五位下内藏大九深養父孫下從守從

五位下春光一男女抗前守從五位下高

向利生女材上為泉園融華山一條孫次人

結乃所たるまのりしをありしりる

しをねがひしりしりしりしり



丹波守從五位下藤原元真

丹波守後五位下藤原元真

甲斐守後五位下清邦三男急面

越前守令子孫官内少輔成平男

令子者大納言藤原深成男實者下孫守

後五位下清原春之男元棟弟也

~~~~~

~~~~~



正五位下行伴賀守藤原朝臣仲文

從五位上行常陸介藤原朝臣萬二男天曆

御時人也

あり河を舟にひたりをりてはるる
わらわのいふまゝにせむる



橋津権大目正生忠視

御厨子に定外膳部右京心府生為家子

天德河内人

中...
...
...



中勢

中勢御敷康親王女母伴現御息所朱
心後圓敷之間人也

~~~~~の~~~~~  
~~~~~  
~~~~~



文政十一戊子年寫

